

まほろば秦野通信

平成29年1月17日

秦野市役所市長公室広報課

タイトル	参加者&ボランティア・食材募集 子供が元気になれる居場所 “ベジタステーションはだの”
When (いつ)	1月21日(土曜日) 午前11時半～午後2時半
Where (どこで)	秦野市立南公民館 調理室・和室
Who (だれが)	上智大学短期大学部 学生団体上智Jr. ボランティア (協賛: NPO法人 ライフサポート39丹沢)
What (なにを) How (どのように)	<p>市では、上智大学短期大学部の学生ボランティアと連携し、子供が楽しく遊んだり、食事や勉強をしたりして過ごせる、自由な居場所づくりに取り組んでいます。子供たちの年齢に比較的近い学生たちを中心となり、地域の大人たちと共に、子供たちの思いに寄り添い、成長を見守る機会となっています。</p> <p>開催は、公民館等の公共施設で概ね毎月第3土曜日の昼間。子供たちは昼食作りにもチャレンジできます。毎回、温かい雰囲気の中で、皆思い思いの楽しい時間を過ごしながらか、新しい友達を作ったり、地域の運営ボランティアと異世代交流を行ったりしています。</p> <p>進路相談を受けることもあり、子供たちの悩みも解決してあげられる場となっています。</p> <p>運営に関わるボランティアや、食材の支援も募っています。</p> <p>人数 小・中学生、高校生40人(申し込み制) 参加費 無料(大人・300円) 問い合わせ先 子育て支援課 TEL86-3460</p>
Why (なぜ)	<p>近年国内でも大きな問題とされている「子供の貧困問題」。日本の貧困率は約16%といわれています。</p> <p>近頃では市民団体が主体若しくは官・民の協働により、いわゆる「子ども食堂」を実施する地域・自治体が増えています。</p> <p>上智の学生たちは、「自分たちと市民が協力し合って、未来を担う子供たちを、地域で見守り、育てていきたい」という思いで自主的に取り組みを始め、今回まで、市との連携により、上智単独によるイベントとしては、2回開催しています。</p> <p>名称の「ベジタステーション」は、学生が願いを込めて名付けたもので、スペイン語で「子供が元気になれる場所」を意味しています。</p>

<p>How much (予算)</p>	<p>市事業として位置付けしていますが、市の財政支援はありません。</p>
<p>過去の実績</p>	<p>●第1回目 月日 平成28年8月11日(木曜・山の日) ※市の「山の日イベント」に位置付け、NPO法人 ライフサポート39丹沢との連携により開催。 場所 デイサービスコミュニティー万年青(曾屋) 参加者 5歳～小学生 7人 内容 野菜の収穫体験、昼食、遊び、学習</p> <p>●第2回目～ 月日 平成28年10月15日(土曜日) 平成28年11月19日(土曜日) 場所 南公民館 参加者 小学生～高校生 約10人 内容 昼食、遊び、学習</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>今後も、上智大学短期大学部の学生と連携して実施する予定です(実施しない月もあり)。 貧困世帯や、保護者の就労等により「家に一人で過ごす(孤食含む)」、様々な環境の中で「居場所」を求めている子供たち。市としては民間団体が行う「子供の貧困対策」に繋がる事業については、積極的に連携して事業展開していきたいと考えています。 開催にあたっては、「子ども食堂」を名称にすると「貧困対策」というマイナスイメージが浸透してしまうことを避けるため、あくまでも「子どもの居場所」であることを強調していきたいと考えています。</p>
<p>問い合わせ</p>	<p>子ども健康部子育て支援課子育て政策担当 担当: 杉山 電話0463(86)3460</p>

ベジタステーションの様子



おねえさんたちと、たくさん
おしゃべりできるよ！（2016年8月11日）



学校のしゅくだいを持って行って、
おしえてもらおう！（2016年8月11日）



お昼ごはんは、カレーや焼きそば。いっしょ
に作ってみたい？（2016年11月19日）



みんなで考えたあそびで、もりあがっ
ちゃおう！（2016年11月19日）